



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日
東

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西嶋 守男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,071	△5.1	664	△36.9	777	△31.0	540	△34.9
2019年3月期第3四半期	13,777	3.9	1,053	△11.5	1,127	△6.7	831	7.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 580百万円(△21.7%) 2019年3月期第3四半期 741百万円(△11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	27.03	—
2019年3月期第3四半期	41.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	24,547	18,849	76.8
2019年3月期	25,752	18,749	72.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 18,849百万円 2019年3月期 18,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2020年3月期	—	0.00	—		
2020年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,293	△5.8	739	△41.9	881	△34.7	614	△35.4	30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	20,000,000株	2019年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	36株	2019年3月期	36株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	19,999,964株	2019年3月期3Q	19,999,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、長期化する米国の通商政策による貿易摩擦の深刻化や、中国経済の減速懸念、英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化等により、景気下振れリスクが増大しております。また、2019年10月からの消費税増税や国内の相次ぐ自然災害等による影響で、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。また、2018年度(2019年3月期)から、3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、初年度の2018年度(2019年3月期)は、海外展開の主力である海外子会社の事業の拡大を目指し、海外事業管理部を新設し、人材の育成等による販売・生産能力の向上及び経営管理の充実による経営安定化等を中心に推し進めてまいりました。中期経営計画の2年目となる2019年度(2020年3月期)も、更なる企業価値の向上に向けて、①成長力・収益力の強化、②顧客ニーズの変化への柔軟な対応、③海外展開の加速、④新製品開発、新技術開発の諸施策に取り組んでおります。

超硬製工具類では、主に海外向けの熱間圧延ロールや超高压発生用工具の販売が堅調に推移したものの、混錬工具や溝付きロール、冷間フォーミングロールが前年度特需の反動減等によって販売が低調となり、売上高は3,715百万円(前年同期比4.7%減)となりました。

超硬製金型類では、自動車部品生産用金型や光学素子成形用金型、電池関連金型の販売が好調を維持し、売上高は3,445百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

その他の超硬製品では、自動車部品生産用の超硬金型素材の販売が堅調に推移したことに加え、環境関連の刃物素材の販売も増加しました。しかし、依然として半導体関連の市況の悪化や米中貿易摩擦等が影響し、半導体生産用の超硬金型素材や、スマートフォン部品生産用の超硬金型素材の販売が低調に推移しました。その結果、売上高は2,913百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

超硬以外の製品では、引抜鋼管の販売不振が続いたことに加え、海外向け半導体用樹脂等の鋼製生産工具及びKF2製の混錬工具等の販売も伸び悩んだ結果、売上高は2,996百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,071百万円(前年同期比5.1%減)となりました。利益につきましては、売上高の減少等により、営業利益は664百万円(前年同期比36.9%減)、経常利益は777百万円(前年同期比31.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は540百万円(前年同期比34.9%減)となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、24,547百万円(前連結会計年度末25,752百万円)となり、1,205百万円減少いたしました。流動資産は13,185百万円(前連結会計年度末14,103百万円)となり、918百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が383百万円減少、受取手形及び売掛金が359百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は11,362百万円(前連結会計年度末11,649百万円)となり、287百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物(純額)が148百万円減少、機械装置及び運搬具(純額)が107百万円減少したことによるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、5,697百万円(前連結会計年度末7,003百万円)となり、1,306百万円減少いたしました。流動負債は3,910百万円(前連結会計年度末5,229百万円)となり、1,318百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が574百万円減少、未払費用が465百万円減少、未払金が344百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は1,786百万円(前連結会計年度末1,774百万円)となり、12百万円増加いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、18,849百万円（前連結会計年度末18,749百万円）となり、100百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が540百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が479百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、2020年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,570	4,187
受取手形及び売掛金	3,727	3,368
電子記録債権	1,320	1,311
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	241	303
仕掛品	1,683	1,525
原材料及び貯蔵品	1,380	1,297
その他	182	193
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	14,103	13,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,421	4,272
機械装置及び運搬具（純額）	3,128	3,021
工具、器具及び備品（純額）	301	294
土地	2,693	2,697
建設仮勘定	22	0
有形固定資産合計	10,567	10,285
無形固定資産		
その他	124	120
無形固定資産合計	124	120
投資その他の資産		
投資有価証券	323	336
長期貸付金	19	15
繰延税金資産	589	579
その他	24	24
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	957	955
固定資産合計	11,649	11,362
資産合計	25,752	24,547

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,634	2,059
短期借入金	29	29
1年内返済予定の長期借入金	22	14
リース債務	7	17
未払金	1,145	801
未払費用	700	234
未払法人税等	88	120
賞与引当金	212	373
役員賞与引当金	24	—
その他	362	259
流動負債合計	5,229	3,910
固定負債		
長期借入金	13	5
リース債務	10	27
繰延税金負債	4	9
役員退職慰労引当金	0	0
退職給付に係る負債	1,741	1,740
その他	3	3
固定負債合計	1,774	1,786
負債合計	7,003	5,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	164	164
利益剰余金	18,476	18,536
自己株式	△0	△0
株主資本合計	18,640	18,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	71
為替換算調整勘定	156	172
退職給付に係る調整累計額	△108	△95
その他の包括利益累計額合計	109	148
純資産合計	18,749	18,849
負債純資産合計	25,752	24,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	13,777	13,071
売上原価	10,329	10,063
売上総利益	3,448	3,008
販売費及び一般管理費	2,394	2,343
営業利益	1,053	664
営業外収益		
受取利息	7	9
受取配当金	11	10
受取賃貸料	18	18
補助金収入	74	90
その他	8	7
営業外収益合計	120	136
営業外費用		
支払利息	6	3
為替差損	37	16
その他	2	3
営業外費用合計	46	23
経常利益	1,127	777
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	6	1
減損損失	1	5
投資有価証券評価損	—	9
特別損失合計	9	16
税金等調整前四半期純利益	1,119	761
法人税等	287	221
四半期純利益	831	540
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	831	540

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	831	540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	10
為替換算調整勘定	△28	16
退職給付に係る調整額	10	12
その他の包括利益合計	△89	39
四半期包括利益	741	580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	741	580
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。